

【佳作】「大切な食べ物」

明和小学校 小澤 花奈

私は、給食委員会として思う事が三つあります。一つ目は、一年生から六年生の好ききらいが多い事です。私が、よく片付けをする学年は一年と二年とさくら組です。さくら組はあまりないけれど、一年と二年は小バットの野菜などが多く残ってしまっています。私のクラスは減らす人も多いけど、おかわりをする人も多いです。そのため、減らした分は残る事がありません。でも、残ってしまうのは、二つ目の盛り付けの時の盛り残しです。特に、汁ものと小バットの野菜です。どちらも、始めの方に、多かったり少なく盛ってしまつて、足りなくなつたり残つたりしてしまいます。私も盛り付けは得意ではなくて、小バットの野菜をすぐ残してしまいます。六年生の私でも苦手な盛り付けは、一、二年生にはもつと難しい事です。一、二年生の残りが多いのは盛り付けに原因があるのではないかと思ひます。

三つ目は、給食を食べる時のマナーです。食べながら話したり、物をはしにさしたりしている人がいます。そんな所を給食を作ってくれている人が見たら悲しむと思

います。こん立てを考えてみんながおいしく食べられる方法を考えてくれて、たくさん量を作ってくれているのに、そんなに雑に食べ物をあつかうのは、よくないことだと思ひます。

私は、完ぺきではないけれどマナーを守るのはあたり前の事だからこれからはマナーを守りながら楽しくおいしく給食を食べられるといいなと思ひました。そして、なるべく減らさず、食べ物を大切にすることは、私でもできる事だから、できる事から少しずつ取り組み、給食の残りを減らしていけるといいと思ひます。

私が、給食委員の仕事をして、たくさん残りの物を見ました。これを見た給食を作ってくれている人やこん立てを考えてくれている人たちの気持ちは想像できます。やつぱり、悲しいや、何で残ってしまったのだろう。と、ぎ間にも思ひます。

私たちは食べる物がたくさんあります。でも、世界には食べる物が少ししかない人たちがいると本で読みました。そんな人たちがいるのに食べ物粗末にするのは、いけないと思ひます。私はこれからも好ききらいせずマナーを守つて、食べ物を大切にしていきたいです。